

Casting Our Eyes  
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

株式会社 **アーレスティ**

証券コード：5852

第**99**期 期末  
**株主通信**

2019年4月1日▶2020年3月31日



# 株主の皆様へ

## 「自動車の軽量化に貢献する アーレスティ」を目指し変革を推進

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの現状と今後の展望についてお答えします。

なお、第99期の業績については3ページ以降をご覧ください。

今後とも、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2020年7月

代表取締役社長

高橋 新



### Q1 第99期の振り返りと今後の見通しについて お聞かせください。

売上は主要顧客の販売減少やインド・中国の自動車市場低迷の影響により減少。利益面でも、今後の売上予測減少に伴う繰延税金資産の取り崩しなど大変不本意な結果となりました。新型コロナウイルスの感染拡大による影響等により2020年度の自動車販売は過去にない減少が予測されておりますが、第4四半期から2021年度にかけて順次回復すると見込まれています。withコロナ・afterコロナの両面で必要な変革を進めてまいります。

新型コロナウイルスのために亡くなられた多くの方々に衷心よりお悔やみ申し上げます。また医療関係者の皆様に感謝するとともに、病床の皆様の早期ご快癒をお祈り申し上げます。私たちの生活と経済活動に甚大な影響を及ぼしている新型コロナウイルスに対する予防法、治療法が一日も早く確立

する事を願ってやみません。

2019年度、当社は、主要顧客の販売減少やインド・中国の自動車市場低迷の影響により売上減少となりました。利益面においても、今後の売上予測減少に伴う繰延税金資産の取り崩しなど大変不本意な結果となりました。また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により2020年2月中国工場に始まり、海外の全ダイカスト工場が急激な生産減少・休止となりました。しかしながら、2月半ばには中国工場、5月中旬にアメリカ工場、下旬にメキシコ工場、6月初旬にインド工場と全拠点が生産を再開しました。残念ながら新車需要が急減した事もあり、未だフル操業には至っておらず、需要状況に応じた生産体制を構築し、柔軟な対応を行っております。また、国内間接部門においては3月後半よりテレワーク・時差出勤を大幅に拡大しました。「新しい生活様式」への対応の中で得られた気づきを糧に今後も「働き方の新しいスタイル」を推進してまいります。

2020年度前半の自動車販売は過去にない減少が予測されておりますが、第4四半期から2021年度にかけて順次回復すると見込まれています。各国の大きな経済刺激策や公共交

通から自家用車への交通手段のシフトなども期待できます。withコロナ・afterコロナの両面で必要な変革を進めてまいります。

### Q2 1921中期経営計画への取り組みについて お聞かせください。

2038年創業100周年「自動車の軽量化に貢献するアーレスティ」を目指し、10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」のもと1921中期経営計画を三つの柱で進めております。

当社は2038年に創業100周年を迎えます。CASE\*の進展が見込まれる18年後には、電動化を中心とした「自動車の軽量化に貢献するアーレスティ」を目指し、10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」のもと1921中期経営計画を三つの柱で進めております。

#### ①将来の自動車市場を見据えた事業戦略

品質面等においてお客様から高い評価を得ることを目指しております。ものづくりの基本を守り自工程保証の向上、国内外で良い仕組みや業務のやり方の共有化を進めております。2019年度においてもいくつかの国内外のお客様から高い評価を得ることができました。また営業活動においては、従来の内燃機関（ICE）に加え、電動車（HV、PHV、EV）向けなど電動化関連部品の受注活動を積極的に行っており、2021年度以降の売上に寄与する見込みです。自動車の軽量化に貢献する技術開発や提案も積極的に行っております。

#### ②生産性向上、品質向上による稼ぐ力のアップ

収益力の向上に向けて、生産性改善、リーンな生産体制の構築を推進しており、各工程の様々なムダやロスの削減による体質強化を行っております。また、生産性改善のためにOPCC（最適生産条件管理）を追究、エンジン部品やミッション部品で大幅な品質向上を達成いたしました。今後はOPCC活動を通じて得られた知見を展開し、収益力向上へ繋げてまいります。

#### ③企業の成長を支えるひとづくり

従業員一人ひとりが仕事を通じて成長し、働きがいを感じられる風土づくりのために、戦略的人材育成計画（人材

ロードマップ）にそった人材育成を推進、国内外全拠点で同一水準で同一テキストを使った教育を体系的に受けられる体制を整えております。また、安全道場による安全教育訓練や作業環境の改善を進め、安全で心身ともに健康で働きやすい職場を実現してまいります。

### Q3 持続的な成長のためにどのような取り組み を行っているのかお聞かせください。

持続的な成長には事業活動を通じた社会課題への取り組みが重要と考えており、生産工程、またアルミダイカスト製品を通じた環境負荷の低減、コーポレート・ガバナンスの充実等を推進しております。

当社グループが社会に必要な企業として持続的に成長するためには、事業活動を通じて社会課題解決に取り組んでいくことが重要と考えております。

アルミダイカスト事業は、リサイクル性・省エネルギーに優れた二次合金を主原料としていることに加え、当社グループでは生産工程において、高い効率の溶解炉の導入、熱処理炉の操炉制御、生産性改善などを通じてCO<sub>2</sub>排出量や水使用量、排出物量などの削減等、環境負荷低減に取り組んでおります。自動車部品にアルミニウムを使用することで重量は鉄の約半分となり自動車は軽量化され、燃費向上に貢献します。

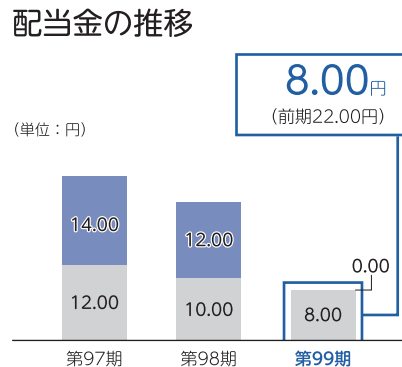
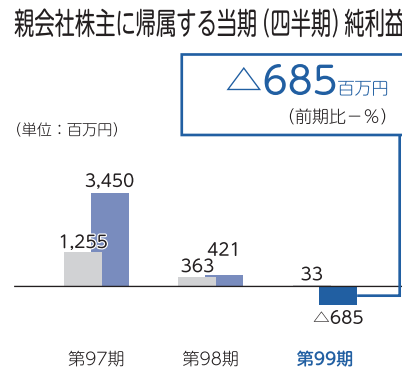
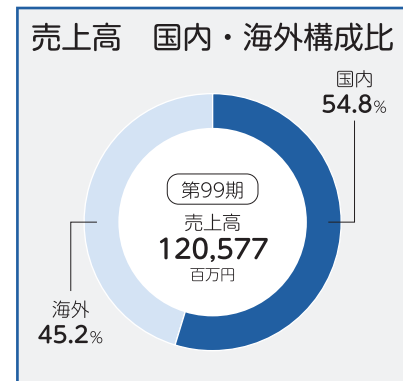
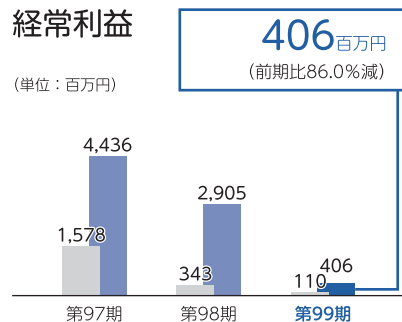
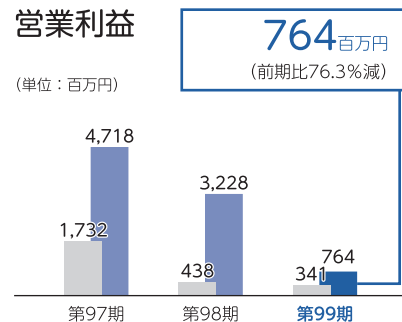
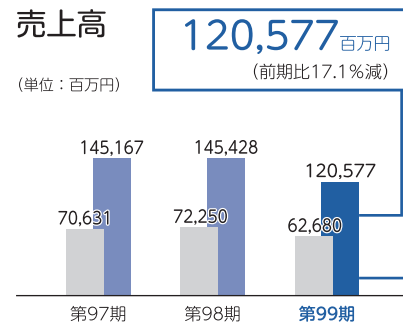
また、当社は、高い透明性と迅速な意思決定が可能な経営体制を確立することで、企業価値向上を目指しております。取締役の指名・報酬決定の手続きの公正性・透明性・客観性を強化し、コーポレート・ガバナンスの充実を図るため、2019年1月、取締役会の任意の諮問機関として委員の過半数を社外で構成する指名報酬委員会を設置しました。さらに、株主・投資家の皆様との価値共有と業績目標との連動性を高めるため、執行役員以上に株式報酬制度を導入しております。

残念ながら新型コロナウイルスにより世界経済の状況は極めて不透明であり、大変厳しい経営環境ですが、このピンチを変革のチャンスと捉え、ものづくりの基本を究めると同時に体質の強化に努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

\*CASE：Connected（コネクティッド）、Autonomous/Automated（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）

# 期末決算ハイライト

## 連結決算ハイライト



## 期末決算のポイント

売上高1,205億円（前期比17.1%減）、営業利益7億円（前期比76.3%減）

### 【売上動向】

- 中国、インドにおける自動車市場の低迷や主要顧客である自動車メーカーのグローバルでの生産量の減少、アルミ地金市況の下落等から大幅な減収となりました。
- また、売上減には北米での会計基準変更による約20億円の減少を含んでいます。

### 【利益動向】

- 原価低減等の生産性の改善による製造コスト削減に努めるも、売上高の大幅な減少をカバーするまでには至らず減益となりました。

## 主要連結財務データ

	第96期 2017年3月	第97期 2018年3月	第98期 2019年3月	第99期 2020年3月
売上高	[百万円] 136,657	145,167	145,428	120,577
営業利益	[百万円] 6,912	4,718	3,228	764
経常利益	[百万円] 6,256	4,436	2,905	406
親会社株主に帰属する当期純利益	[百万円] 4,620	3,450	421	△685
1株当たり当期純利益	[円] 178.77	133.40	16.26	△26.77
総資産	[百万円] 135,044	137,751	128,222	123,054
純資産	[百万円] 62,053	65,439	61,293	57,364
1株当たり純資産	[円] 2,394.58	2,522.55	2,357.98	2,244.49
年間配当	[円] 20.00	26.00	22.00	8.00

(参考) EBITDA 2018年3月期 19,617百万円、2019年3月期 19,239百万円、2020年3月期 15,093百万円

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

## ■ 来期の見通し

第100期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大している影響により、現時点で合理的な算出が困難な状況であることから、未定としております。今後の業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で当社IRサイト等にて速やかに公表いたします。

## ■ (ご参考) 中期経営方針

### 10年ビジョン

#### 信頼を究めよう 2025

ものづくりを究めて、QCDD（品質・生産性・納期・開発力）に優れた製品・サービスを提供し、お客様の事業の発展に貢献します。常にお客様を第一に考え、期待と信頼に応えていきます。

### 1921中期経営計画

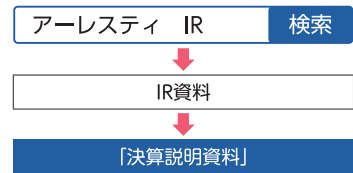
将来の自動車市場を見据えた事業戦略

生産性向上、品質向上による稼ぐ力のアップ

企業の成長を支えるひとづくり

## 当社IRサイトで決算説明資料を掲載しています

機関投資家向けに開示している決算説明資料、参考資料などを掲載しております。本冊子と併せてご参照ください。



もしくは右記QRコードよりご確認ください。

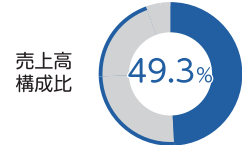




# 事業別の概況

## ダイカスト事業

### 日本

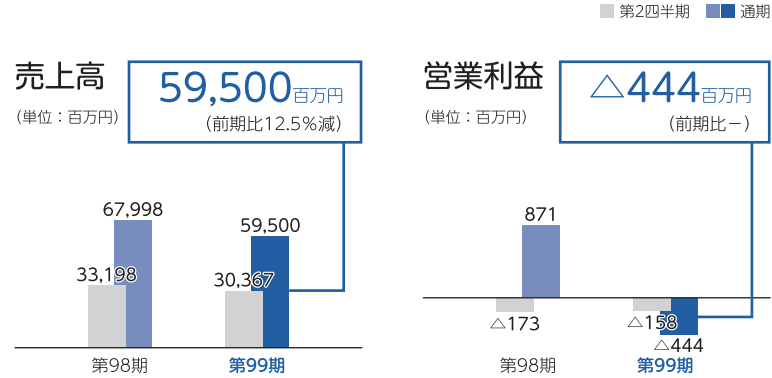


#### 売上高

- ・主要顧客の北米・アジアでの自動車販売低迷が続く影響で当社国内販売量も大幅に減少
- ・アルミ地金市況の下落影響等もあり減収

#### 営業利益

- ・原価低減、生産性改善で製造コストの削減を進展させるも、販売量の減少をカバーするまでには至らずセグメント損失を計上



### 北米

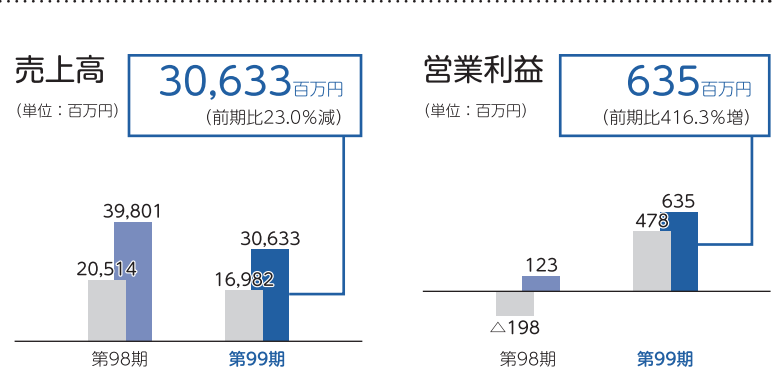


#### 売上高

- ・米国、メキシコともに主要顧客を含む自動車メーカーの販売量が減少し減収
- ・米国での一部顧客におけるストライキによる稼働停止も減収に影響

#### 営業利益

- ・販売量の大幅な減少はあるものの、生産性の改善による製造コストの削減と減価償却費の負担軽減等により収益改善



### アジア

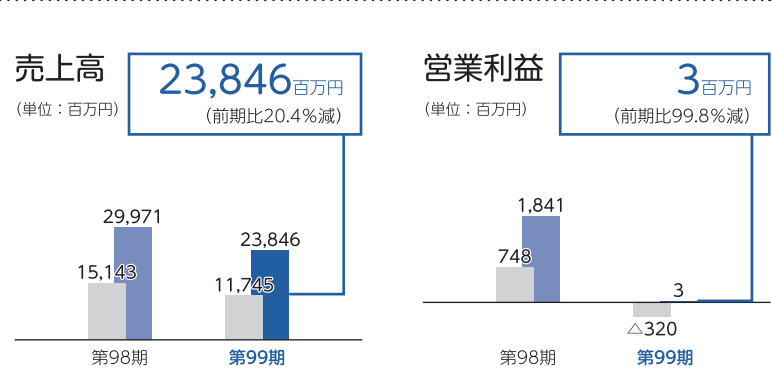


#### 売上高

- ・中国はローカル自動車メーカーの減速による販売量の落ち込みが続いており、為替等の影響も受けて減収
- ・インドは自動車ローンの貸出基準厳格化や排ガス規制強化に伴う買い控え等の影響もあり販売量が減少

#### 営業利益

- ・売上高減少の影響が大きく大幅に減益



## ダイカスト事業

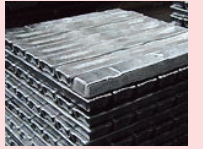
80年にわたるたゆまぬ研究開発で育んできた高い技術により、自動車のエンジン、トランスミッション、電動化部品など様々なダイカスト製品を製造・販売しています。



ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており鑄肌が美しいことです。その特徴を活かし、複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

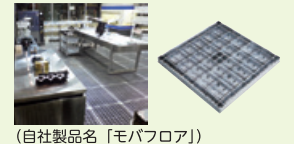
## アルミニウム事業

缶、サッシ、自動車スクラップなど多様な原料をもとに、厳しい管理のもと、品質の優れたアルミニウム合金地金を製造・販売しています。



## 完成品事業

フリーアクセスフロア（配線・配管を床下に収める2重床システム）のアルミニウムダイカスト製フロアパネルを製造・販売しています。



## アルミニウム事業

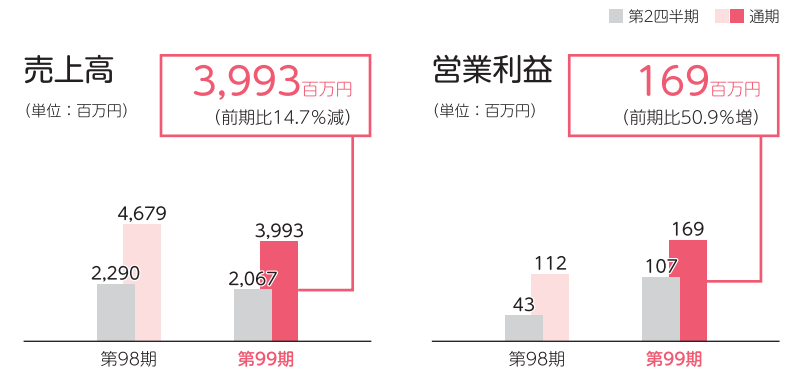


#### 売上高

- ・前年と同水準の販売重量を維持したものの、アルミ地金市況の変動等により販売単価が下がり減収

#### 営業利益

- ・原材料の調達価格下落等がコスト削減に寄与し増益



## 完成品事業

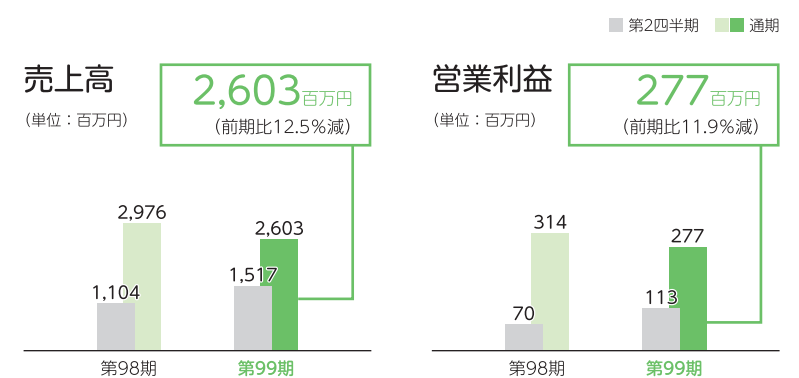


#### 売上高

- ・主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件等の受注が前期を下回り減収

#### 営業利益

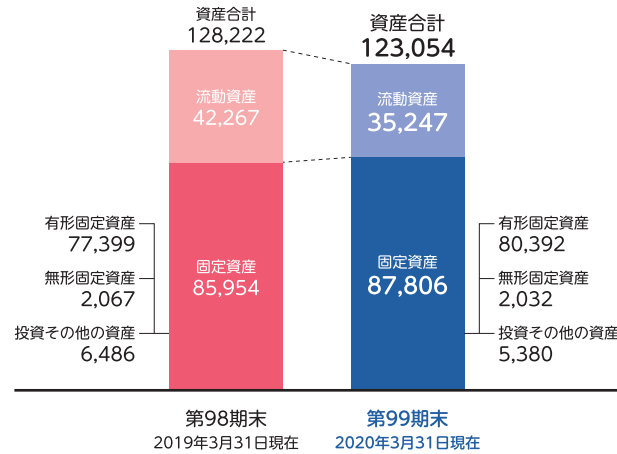
- ・受注減少により減益となるも利益率は前年並みを確保



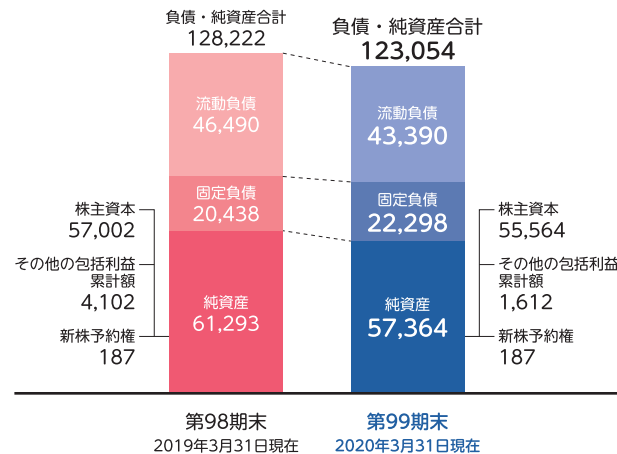
# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の概要

資産の部 (単位：百万円)

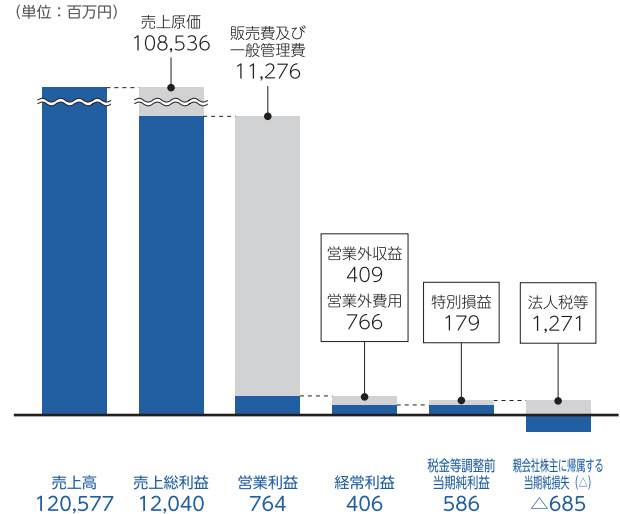


負債・純資産の部 (単位：百万円)



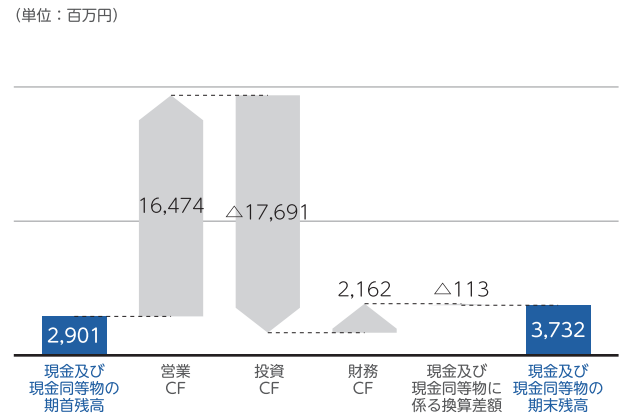
## 連結損益計算書の概要

第99期 2019年4月1日から2020年3月31日まで (単位：百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

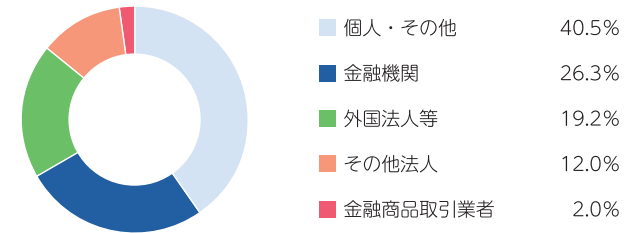
第99期 2019年4月1日から2020年3月31日まで (単位：百万円)



# 株式の状況

項目	数値
株式数及び株主数 (2020年5月31日現在)	
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	26,076,717株
株主数	6,031名

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (平日9:00-17:00) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.ahresty.co.jp">https://www.ahresty.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

## お知らせ

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 大株主（上位10名） (2020年5月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	1,561	6.1
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1,247	4.8
高橋 新	962	3.7
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ACCT BP2S DUBLIN CLIENTS-AIFM (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	845	3.3
アーレスティ取引先持株会	690	2.7
日本軽金属(株)	657	2.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	586	2.3
スズキ(株)	565	2.2
株式会社ほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	544	2.1
株式会社三菱UFJ銀行	544	2.1

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は自己株式(602,289株)を控除して計算しております。また、小数点第1位未満を切り捨てて表示しております。

## ホームページのご案内

当社ホームページ「株主・投資家情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。併せてご覧ください。



トップページ

「株主・投資家情報」ページ

<https://www.ahresty.co.jp>

## トヨタ自動車東日本株式会社との新規取引を開始

アーレスティ山形は、トヨタグループのコンパクト車を専門に製造するトヨタ自動車東日本株式会社より、TNGA1.5Lエンジン用クランクケースを受注、新規取引を開始しました。TNGA1.5Lエンジン用クランクケースは、東海工場とアーレスティプリテックでも2020年2月より並行量産しており、アーレスティ山形では5月より量産を開始しています。製品は、新型ヤリス、ヤリスHV、GRヤリスの他、今後 順次 Newモデルへ搭載されます。

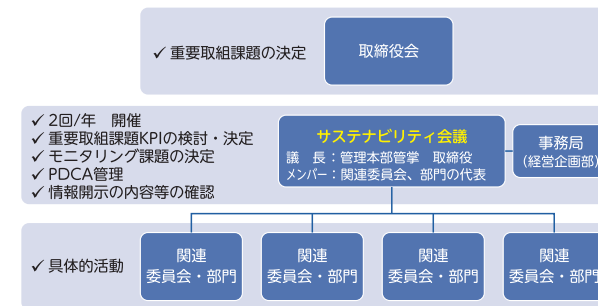
※TNGA: [Toyota New Global Architecture]



トヨタ自動車 新型ヤリス

## 持続的な成長に向け「サステナビリティ会議」を設定

アーレスティは、ステークホルダーの期待に応えることでさらなる信頼の獲得と事業を通じた社会課題の解決による持続的な成長を目的に、管理本部管掌の取締役を議長とする「サステナビリティ会議」を設定することを2020年3月に決定いたしました。年に2回開催されるこの会議では、取締役会で承認されたアーレスティの重要取組課題のKPIの検討と決定、モニタリング課題の決定、それらのPDCA管理等を行ってまいります。「サステナビリティ会議」で決定された取り組み事項は、アーレスティグループの各部門、委員会で推進されます。



## アーレスティにおけるSDGsの取り組み

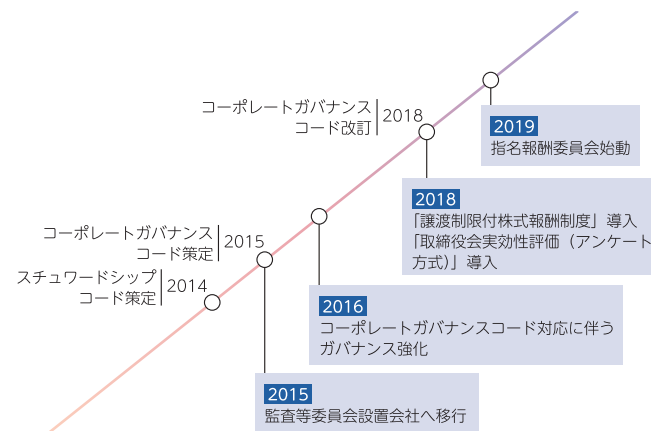
アーレスティでは、国連サミットで決定された国際社会共通の目標「SDGs（持続可能な開発目標）」に照らし、ステークホルダーに与える影響度とアーレスティに与える影響度の2軸で取り組むべき社会課題を整理しています。社会課題解決に対する貢献度が高く、かつアーレスティの事業であるアルミニウムダイカスト製品の製造との関連性が高いSDGsの目標7と目標13を、取締役会の承認をもって重要取組課題に決定いたしました。製造工程においては、生産効率を向上し使用化石燃料資源を低減することでエネルギー効率の改善率向上に貢献します。また、製品の製造・販売を通じ自動車を軽量化し、燃費を改善することで、CO<sub>2</sub>排出量削減による気候変動影響軽減にも貢献していきたいと考えています。モニタリング課題においては日々の事業活動を通じ、ガバナンス体制の充実、成長と働きがいを感じられる風土づくり等、要対応課題として引き続き取り組んでまいります。



- 重要取組課題：アーレスティとアーレスティのステークホルダーに与える影響度の高いものを選び目標をもって推進
- モニタリング課題：要対応課題として日常業務等の中で推進

## コーポレートガバナンス強化への取り組み

アーレスティは、2015年より監査等委員会設置会社に移行。経営と資本の効率向上のため、取締役会の監督機能を強化するとともに、業務執行機能を経営会議や業務執行取締役の権限委譲し積極果敢な経営判断を行う体制を整備してきました。2015年・2018年のコーポレートガバナンスコード策定・改訂に伴い、2018年に「譲渡制限付株式報酬制度」や「取締役会実効性評価（アンケート方式）」の導入、2019年に指名報酬委員会を設置し、取締役の選解任や報酬、後継者計画についての討論等、コーポレートガバナンス強化への取り組みを進めてまいりました。今後もグループ全体での収益力の拡大と経営と資本の効率を高め、企業価値の増大を目指し、コーポレートガバナンスのさらなる強化に取り組んでまいります。





## ■ 会社概要

(2020年3月31日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	1943年11月2日
資本金	6,964百万円
従業員数 (単独)	936名
企業集団の従業員の状況	従業員数
	ダイカスト事業日本 2,200名
	ダイカスト事業北米 2,436名
	ダイカスト事業アジア 1,985名
	アルミニウム事業 51名
	完成品事業 26名
	全社 (共通) 82名
	計 6,780名



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

Cover Photo : 本社・テクニカルセンター外観